

## 2年芸術：美術（MYP3 Art: Visual arts）【美術：1単位】

### 科目のねらい

- ・ 生涯にわたって芸術とのかかわりを楽しむ
- ・ さまざまな時代、文化、文脈にわたって芸術を探究する
- ・ 芸術とその文脈の間関係性を理解する
- ・ 芸術の創作や実演に必要なスキルを培う
- ・ アイデアを創造的に表現する
- ・ 若い芸術家としての自分の成長を振り返る

### 目標および評価基準

MYP 評価観点	
A … 調 査	i. 探究テーマに関連して、選択した芸術分野のムーブメントやジャンルを調査する
	ii. 選択したムーブメントまたはジャンルの芸術作品やパフォーマンスを批評する
B … 発 展	i. 実践的にアイデアを探究し、芸術作品やパフォーマンスの完成に向けた取り組みに活かす
	ii. 最終的な芸術作品やパフォーマンスについて、芸術的意図を探究テーマに沿って明確に提示する
C … 創 作 ・ 実 演	i. 芸術作品を創作または実演する
D … 評 価	i. 自分の芸術作品やパフォーマンスを評価する
	ii. 芸術家としての自分の成長を振り返る

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Art guide」に基づいています。

関連概念（美術の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

受け手	境界	構成	表現
ジャンル	革新	解釈	物語
プレゼンテーション	表象	様式	視覚文化

※目標と評価規準は MYP 芸術3のものを使用する。

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総合的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期（4月～9月）	2	1. 美的感性 2. アイデンティティと関係性 3. コミュニケーション、整理整頓、情動、振り返り、情報リテラシー、メディアリテラシー、批判的思考、創造的思考、転移	「あかりがつくる空間」 ランプシェード制作  A 表現 (1)イ(ウ) B 鑑賞 (1)ア(イ) 共通事項ア  教材 石粉粘土 小型ライト  光村図書 美術 2・3	「レポート」【A】 光と、色、形、材質の関係性に着目し、デザインされた照明が空間を変化させることで、心情にどのような影響を与えるのか調査した上、自分の考察を説明できているかを評価する。  「作品」【C】 完成した作品(ランプシェード)から、技能面(整形、表面処理、デザインの再現度、施したスリットによる光の効果)を評価する。  「プロセスジャーナル(総合的評価課題自己評価)【D】 プロセスジャーナルに、自身の芸術作品とその表現についての振り返りを毎授業記述する(Di)。 自身の作品とプロセスジャーナルを振り返り、自分の成長について記述したものを評価する(Dii)。	1. ①知識・技能C ②思考・判断・表現力A ③主体的に取り組む態度D  2. A 4
後期（10月～3月）	4	1. 創造性 2. 個人的表現と文化的表現 3. コミュニケーション、整理整頓、情動、振り返り、創造的思考、転移	「空想の世界へようこそ」 空想画制作  A 表現 (1)ア(ア) B 鑑賞 (1)ア(ア) 共通事項ア  教材 アクリル絵具・絵筆・筆洗 紙パレット・キッチンペーパー 空想画制作資料(教師作製)  光村図書 美術 2・3	「キャプション」【B】 作品解説(キャプション)に、芸術的意図(テーマ、モチーフの選択、配色意図、水彩技法、構成意図など)について具体的に説明しているかを評価する。  「作品」【C】 完成した作品から、技能面(構図、配色構成、技法、デザインの再現度、空想画構成要素)を評価する。  「プロセスジャーナル(総合的評価課題自己評価)【D】 プロセスジャーナルに、自身の芸術作品とその表現についての振り返りを毎授業記述する(Di)。 自身の作品とプロセスジャーナルを振り返り、自分の成長について記述したものを評価する(Dii)。	1. ①知識・技能C ②思考・判断・表現力B ③主体的に取り組む態度D  2. B 9
	6	1. グローバルな相互作用 2. グローバル化と持続可能性 3. コミュニケーション、協働、整理整頓、情動、振り返り、情報リテラシー、メディアリテラシー、批判的思考、創造的思考、転移	「憩いの場をつくる」 パブリックデザイン ジオラマ制作  A 表現 (1)イ(ウ) B 鑑賞 (1)イ(ア) 共通事項イ  教材 カネライトフォーム スチレン版画ボード ジオラマスポンジ ジオラマ模型(木) Gクリア・スチのり  光村図書 美術 2・3	「レポート」【A】 レポートの記述から、サステナブル建築・パブリックデザインについてと、場所や空間から感じる心地よさはどこから生じるのか、公共の場でのデザインが心情にどのような効果をもたらすのかの記述、考察、分析、情報量を評価する。  「ジオラマ制作のためのアイディアスケッチ」【B】 パブリックデザインジオラマ制作(グループ制作)のためのアイディアスケッチで、グループテーマが反映された建築か、担当エリア(公園や広場など)の機能が具体的に表現されているか、サステナブルな取り組みがあるか、発想力やひらめきがあるか、参考建築の記載があるか等を評価する。	1. ①知識・技能B ②思考・判断・表現力A ③主体的に取り組む態度B  2. C 1 1